

北見武道通信

令和7年10月2日 00763号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 秋季柔道実技理論講習会実施

北見柔道連盟・NPO 法人北見市武道振興協会の「柔道実技・理論講習会」が実施されています。9月12日毎週金曜日5回に亙り行われ、受講生は実技講習会では柔道の基本「形」を段位別に学び、理論講習会では、柔道のスポーツ（競技）としての楽しさと柔道精神「礼」に込められる感謝と謙虚さの心に加え社会生活を送る上で欠かせない相手を尊重する礼法や礼節の大切さを学びます。最終日の10月3日には武藤会長から修了証が手渡されます。〈佐藤〉



サナギ (短編小説)

あるところに、男がいた。

男はこれといってとりたてるほどの特技もなく、ただ毎日を漫然と過ごしていた。

自分の人生に起伏が無いことを男もうすうすは感じていた。しかし、そのことは男を何か別な行動に引きたてる原動力とはなり得なかった。

男は昨日と同じような今日を過ごし、今日と同じような明日を過ごしていた。

そんなある日のことである。男はいつものように、寝具を整えたあと窓を開け、外を眺めた。

晴れているので遠くがよく見える。男は朝の空気を心ゆくまで吸い込んだ。

一息ついて、窓を閉めようとした時である。男は窓のサッシに、何かが付いていることに気がついた。

それは、何かのサナギのようだった。

男はおやと思った。日頃変わりばえのない生活を送っている男にとって、このサナギは少なからぬ変化のように思われた。「いつのまにできていたんだろう」

男はあまり虫には詳しくないので、それが何のサナギなのかはわからなかった。ただこの何もしゃべらない、くすんだ色のサナギが、妙に男の心をつかんで、窓を閉めたあとにもことあるごとに頭の中をよぎった。

つづく 〈ゆいか〉

武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ大人気！

武道館スタッフ織田愛子展 ※お題は「“みんなあつまれハッピーハロウィン ”」

北見市武道館 事務室受付前に展示



連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得> 四、指導上の実際的方法

更に指導上の実際的方法について一言すると、大體、激励と賞賛、課題と工夫等の方法を挙げることが出来る。元來が柔道は理屈の修行ではなく、実際的修行なのだから、指導上に於いても、ただ理屈の上での賞賛や激励よりは、実際の稽古中、ここだなと思う時、例えば、修行者が自分にかけての技が、その気合いといい、技といい、充分だなと感じた時に『それだ、今の技はその気合いだぞ。気合いを忘れるなよ!』という風に激励賞賛して、以心伝心的に、修得させるという言うようなことである。

つづく